

会員増強セミナー 参加報告

報告者:戸高 豊文

2730 地区では3年未満の会員が600名、この人たちが退会している。新入会員にロータリーの歴史、理念、組織、活動を理解してもらうことが大事。その後次のような意見がありました。

ロータリークラブは職業奉仕なので、ロータリークラブで「地域相談会」を開催して相談を受け付けている。最近のロータリークラブは、Eクラブや早朝例会、サテライトクラブなどの多様性がある。自分のクラブの例会のあり方などを検討してみる。楽しさがあると会員も増える。ガバナー公式訪問で「入会式」を行いガバナーからバッジをつけてもらうなど。

感想として従来型ではないクラブ運営を行わないと時代の潮流に逆らって会員が増えることはないだろうと思います。今一番会員が減っているのはアメリカと日本らしいです。例えばインドでは増えています。それはまだ「ロータリークラブはステータス」というイメージがあるからでしょう。このステータスということ自体が大事ではなくなった感じがします。だとしたら、ロータリークラブにどのような魅力があるのかを考察し、発信していくことが大事でしょう。無理な会員増強はのちのちのマイナスイメージの方が多くなりそうです。

次年度のための地区研修協議会 報告 No.1<本会議>

報告者:会長エレクト 桐明 桂一郎

次年度のための地区研修協議会が5月24日、延岡市で開かれ、午前中の本会議に続き、午後は各分科会に分かれて研修や意見交換などが行われました。

地区内65クラブから会長エレクトをはじめ次年度の役員予定者など約800名が集い、我がEクラブからも13名が参加しました。

野口記念館で開かれた本会議では、まず野中玄雄ガバナーエレクトがRIの次年度テーマ「世界へのプレゼントになろう」と2730地区のモットー「奉仕は力！活かそう例会」について説明されました。

テーマを発表したK.R.ラビンドラン RI 次期会長のメッセージの中にある「結局のところ、私たちの人生の価値は、どれほど得たかではなく、どれほど与えたかによって判断される」という箇所が重要だということでした。

テーマの「プレゼント」とは、ロータリーの奉仕、超私の奉仕そのものであり、「世界」も

必ずしも遥かなる地域や人々を指す訳ではない。まずは身近なところから考えていこうということです。

最後に「地区一丸となって『世界へのプレゼントになろう』を邁進して行きましょう」と呼びかけられました。

RI第3ゾーンロータリーコーディネーターの安満良明パストガバナーは、クラブの取り組みとして会長、直前会長、会長エレクトが連携し、継続性のある戦略計画、長期計画の推進を強調され、また、ロータリーの認知度を高めるためには、大きな宣伝ではなく、会員一人一人が、家庭で、職場で、地域でロータリーを語ることから始めなければならないと話されました。

本会議では、地区の各次期委員長、部門長からそれぞれ発言がありましたが、その中で我がEクラブの研修リーダーである菊地平パストガバナーにはEクラブのPRをしていただきました。クラブ設立の経緯、クラブ運営や活動の状況、WEBサイトでの例会開催で、出席や他クラブからのメイクアップもしやすいなどの特徴、入会手続きなどを分かりやすく説明されました。最後に、国内のEクラブから二人目のガバナーが誕生するという「サプライズ報告」を受けて、「EクラブはElectricのEから～Elite(エリート)のEになる可能性を大いに秘めている」と、ウイットに富んだスピーチでEクラブへの関心を盛り上げていただきました。

これで、7月1日スタートの次年度に向けて本格的な準備段階に入ることになります。会員各自にはよろしく申し上げます。